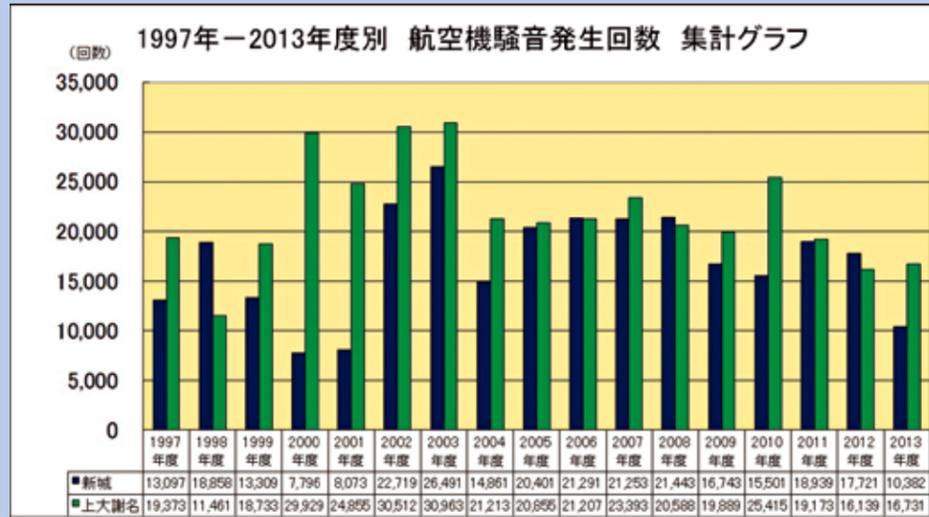


基地から派生する被害

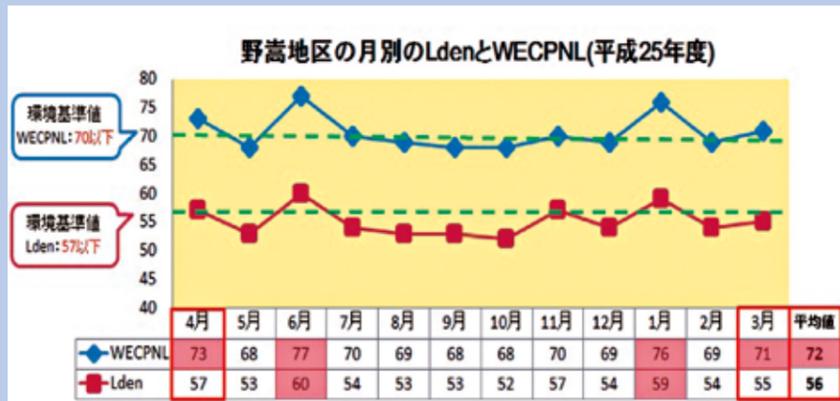
騒音被害



市と県では、市内8カ所に騒音測定器を設置しています。

○測定条件○

- ・騒音値が暗騒音レベル(環境騒音)より10dB以上大きいもの
- ・騒音が5秒以上継続するもの
- ・航空機が発したトランスポンダ応答信号電波を受信したもの

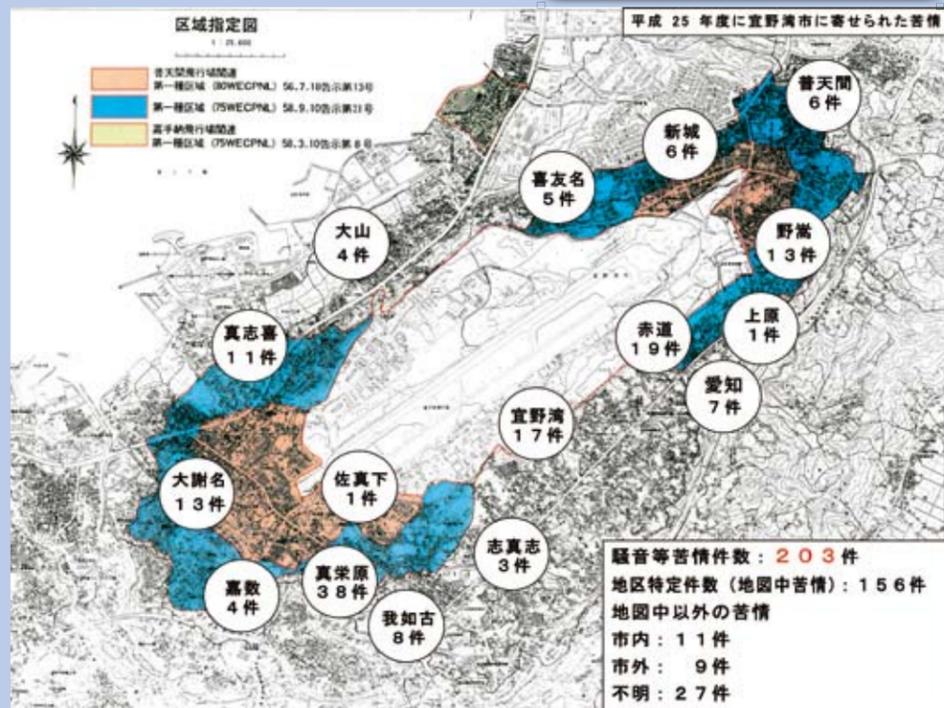


平成25年度から、航空機騒音に係る環境基準の指標が、従来のWECPNLから、Ldenへ変更されました。野高地区の平成25年度の値を両方で比べてみると、WECPNLでは環境基準を超過していますが、Ldenでは基準値内という結果となっており、実際の騒音発生状況は同じであるにもかかわらず、軽減しているような印象を与えています。

：環境基準値を超過した値

宜野湾市民は日常的に米軍機騒音にさらされた生活を余儀なくされています。

また、市内全域から騒音に関する苦情が寄せられているにも関わらず、防音工事の対象区域は一部地域にとどまっております。政府への要請を通じ防音工事の助成対象区域の拡大を求めています。



墜落の危険性

普天間飛行場所属機による事故 **105回** (平均で約2.4回/年)
(件数は本土復帰から2015年3月18日までを集計)

最近の主な普天間飛行場所属機の事故(2015年3月18日現在)

2013年 2月20日	タイで演習中にCH-46型ヘリがハードランディング(落下着陸)し、5名が負傷
4月2日	AH-1Wヘリが訓練を終え普天間飛行場に帰還する際に、燃料キャップを紛失
4月16日	韓国で演習に参加していたCH-53E型ヘリがハードランディング(落下着陸)し、事故後炎上
8月12日	CH-53E型ヘリがパネル上のライトが点滅したため、嘉手納飛行場に緊急着陸
2014年 6月17日	MV-22オスプレイが通常飛行訓練の海上飛行中にスタティックウィック(ペンサイズの薄い金属製の小さな部品)が落下
8月21日	AH-1Wヘリが訓練を終え普天間飛行場に帰還する際に、燃料キャップを紛失
9月18日	AH-1Wヘリが通常飛行訓練中に、ウイングボルト(ちょうねじ)とモーリングリングが機体から落下
2015年 1月15日	AH-1Wヘリが出砂島訓練空域の海域南西付近で訓練飛行中に、ミサイルランチャーなどを含む計208キロの装備品が落下
3月12日	MV-22オスプレイが中部訓練区域で消火活動をしていたところ、平らのアルミ製の部品が落下

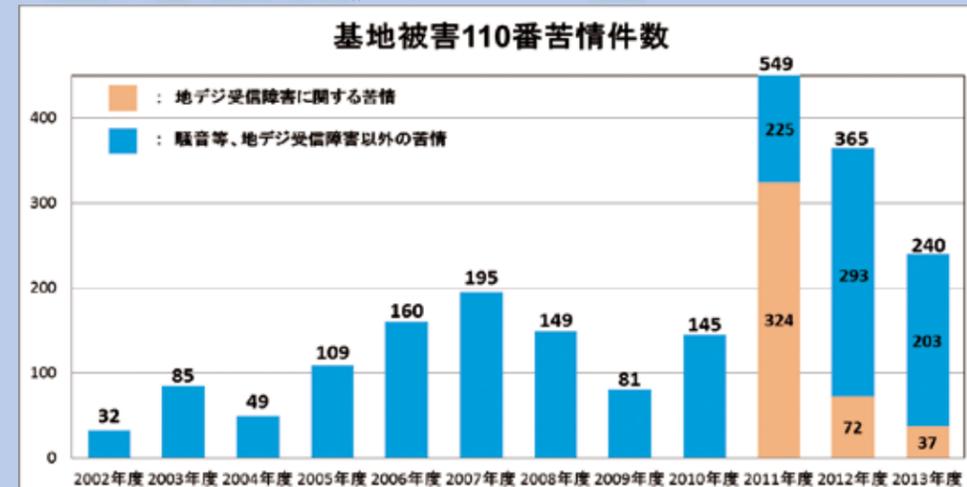
地デジ受信障害

米軍機が住宅地上空を通過すると、地デジ受信障害が発生するといった声が市内全域から寄せられており、その対策を国に求めたところ、沖縄防衛局の調査により認定された野高・普天間・新城の一部区域については、平成23年度に防衛省の補助金を活用し市が対策を実施しました。しかしながら、対策が行われた区域以外からも同様な声が寄せられていることから、引き続き、米軍機が起因する地デジ受信障害の解消に向け取り組んでおります。

地デジ受信障害に関する苦情

2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 (12月末現在)
324件	72件	37件	25件

基地被害110番



宜野湾市では、夜間・休日の騒音苦情窓口として基地被害110番を設置し、留守番電話にて24時間苦情を受け付けております。

宜野湾市 基地被害110番 ☎ **893-4400**

宜野湾市では昼夜を問わず基地から発生する騒音等の苦情について、職員の勤務時間外にも対応できるよう、留守番電話専用回線である「基地被害110番」を設置しております。市へ寄せられた声は市長まで目を通し、翌日までに米軍と沖縄防衛局へ届け、市民生活へ配慮するよう申し入れております。また、特に騒音が激化した際などは適宜、米軍および沖縄防衛局等へ抗議・要請を行っております。